

一般質問

12議員の視点と提案

谷仲 和雄 議員 …… P13

- ・重層的支援体制整備、国の方針転換への対応
- ・学校給食について

山崎 晴生 議員 …… P14

- ・ケアプランデータ連携システム普及支援を
- ・消防職員の環境

鬼田 岳哉 議員 …… P14

- ・小美玉市での「道の駅」見解は？
- ・ブランドメッセージの検証
- ・道路維持管理業務（除草）
- ・ヘルメット補助金の対象拡大を

福島ヤヨヒ 議員 …… P15

- ・市民活動を支える公共施設の在り方は
- ・有機フッ素化合物対策
- ・スズメバチ対策

香取 憲一 議員 …… P15

- ・市内居住外国人対応窓口一元化を要望する
- ・妊産婦支援について

真家 功 議員 …… P16

- ・中央線の延伸は可能性を残しているのか
- ・百里基地対策について

戸田 大我 議員 …… P10

- ・未利用財産の利活用には高いハードルを
- ・狹隘道路の整備状況

鈴木 俊一 議員 …… P11

- ・生徒の学ぶ意欲に変化はないか
- ・新型コロナウイルスの状況
- ・入札について

宮内 勇二 議員 …… P11

- ・希望ヶ丘公園のコスモス・菜の花の今後
- ・スマート農業の推進について

内田 和彦 議員 …… P12

- ・小学生の下校時における熱中症対策は
- ・気候変動による自然災害

村田 春樹 議員 …… P12

- ・妊産婦タクシー利用料助成事業について
- ・地域おこし協力隊について

石井 旭 議員 …… P13

- ・「旧下吉影小学校」利活用の進捗状況は
- ・定額タクシーについて

一般質問とは…市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。



未利用財産の利活用には高いハードルを

とだ だいが
戸田 大我



録画映像

答弁 広く市民の利益に資する企業誘致を図る



▲旧玉里北小学校跡地（栗又四ヶ地内）

問 旧玉里地区の廃止となった小学校等の未利用財産の利活用方針を問う。

答 副市長 旧玉里北小学校は地域住民の関心が非常に高いことから、民間提案制度の活用によって、市の施策や地域への貢献度といった、より高度な公益性を求め、企業誘致を検討する（進入路の整備も検討している）。旧玉里幼稚園は、地域課題への適応度や雇用・経済波及効果などの公益性を企業誘致の条件とする。旧玉里東小学校は当面の間、市の保有地として管理する予定。



▲市内の狹隘道路

◎その他の質問
・小美玉市の今後の国際交流事業について
・落雷による停電時の対応について

問 狹隘道路の整備状況

答 要望箇所の道路整備の課題と今後の対応について市の考えを伺う。

問 都市建設部長 道路整備の要望は現在、316件中128件が未着手となっているが、財源の確保が困難などの要因で整備完了までに長い年数を要している。事業の長期化を避けるためにも、今後は早期の見極めによる整備の進捗を図ることが必要である。



生徒の学ぶ意欲に変化はないか

鈴木 俊一



録画映像

答弁 年度によっての大きな変化は見られなかった

問

県立高校の第2次募集において、英語や数学などの入学試験がなく、面接等で合格したり、定員割れしている県立高校では、ほぼ全員合格したりする状況である。高校入試の変化によって、生徒の学ぶ意欲に変化はないか伺う。

答

教育長 全国学力・学習状況調査の生徒質問調査では、学ぶ意欲の指標とされている質問項目の「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」において、年度によっての大きな変化は見られなかった。本市では学ぶ意欲を高めるために、各学校で授業改善に取り組んでいる。

問

新型コロナウイルスの状況

答

保健衛生部長 令和2年以前は全国的に顕著な超過死亡は確認されなかったが、令和3年4月から6月に通常の年と

入札について

問

物価高騰が続く中、市の発注する業務における対応について伺う。

答

総務部長 物価高騰への対応として、最新の労務単価や資材単価を用いての算出を行い、その他物品等については、適宜、見積りを活用するなど実勢価格に近い予定価格の算出となるよう周知している。

☑ 超過死亡数…過去のデータから予測される死亡数を超える死亡数のこと



希望ヶ丘公園のコスモス・菜の花の今後

宮内 勇二



録画映像

答弁 幅広い視点に立った土地利用の検討が必要

問

コスモス・菜の花畑の事業終了になった経緯と今後のビジョンについて伺う。

答

産業経済部長 連作障害や天候不良の影響により、コスモスと菜の花の開花状況が悪く、委託先からも作業者の高齢化に伴い、受託が困難であるとの意見があった。これらを総合的に勘案し、観光事業として終了とした。今後は、まちづくりに関する様々な課題や市民ニーズなどを踏まえつつ、継続性を意識した幅広い視点に立った土地利用の検討が必要であると考えている。

要望

将来性の高いエリアのため、市で計画的に土地を取得し、希望ヶ丘公園と一体的に整備し、新たなまちづくりの拠点として利活用したい。



▲コスモス畑（中台地内）

問

スマート農業の推進について

答

本市独自の支援や研修の可能性、そして今後の方針について伺う。

答

産業経済部長 国・県の動向を踏まえながら、補助要件の検討や操作技術の普及など、引き続き関係機関と連携し、予算の確保も含め、スマート農業（☑）導入の支援に努めていく。

要望

アシストスーツ（☑）は国や県の支援事業の対象になりづらい面があり、先端技術の普及促進の観点からも市が主導して認定農業者などが主導して認定農業者など担い手を中心とした実体験会を開催し、多くの農業者に有効性を理解してもらう機会を設けるとともに、市独自の予算措置を含む導入支援事業についても検討していただきたい。



▲アシストスーツ（イメージ）

☑ スマート農業…ロボット技術や AI などの先端技術を活用し、生産性向上などを旨とする革新的な農業
☑ アシストスーツ…モーターアシストなどにより、農作業中の腰や腕への負担を軽減する着用型の器具



小学生の下校時における熱中症対策は

うちだ かずひこ
内田 和彦



録画映像

答弁 ネットクーラー冷却施設設置を検討していく



▲登下校する小学生

問

下校時の熱中症リスクがかつてないほど高まっている。そのため、下校時にもネットクーラー(☐)や冷却タオルなどが活用可能な環境整備として、冷蔵庫の運用や設置などが実施・検討されているか伺う。

答

教育長 現在、ネットクーラー冷却用の設備は設置していない。また、既存の冷却設備(一般家庭用冷蔵庫)で全ての児童生徒に対応することは困難なため、下校時は冷却タオルを推奨するなど対応している。今後、学校管理下における登下校時のネットクーラーの利用状況や児童生徒・保護者からのニーズなどを把握し、検討していく。

気候変動による自然災害

問

気候変動の影響で豪雨災害は増加傾向にあり、記録的な大雨や線状降水帯の発生などで豪雨災害の頻発化、激甚化が進んでいる。浸水被害対策として事前の備えと浸水が起きた場合の対応を伺う。

答

総務部長 浸水被害に対する事前の備えについては、定期的な道路パトロールによる排水溝の確認や、台風等の警報予想による大雨が降る前に、排水溝の清掃等を実施している。浸水後の対応については、現地の状況を確認し、道路を通行止めするなど必要な安全確保を行っている。

☐ ネットクーラー…首元に装着し体温の上昇を抑えるための冷却アイテム



妊産婦タフシー利用料助成事業について

むらた はるき
村田 春樹



録画映像

答弁 ニーズを反映した制度の見直しを進めていく

問

妊産婦タフシー利用料助成事業の利用状況と課題について伺う。

答

福祉部長 昨年度から事業を開始しているが、現在まで利用者はいない。今後は、利用実績がないことを踏まえ、対象者のニーズを反映した制度の見直しを進め、利用周期の修正、助成内容、助成額の見直しを図り、妊産婦が安心して出産・子育てに臨める環境整備を進めていく。

要望

妊産婦が使いやすいよう、母子健康手帳を配布したとき、もしくは母子健康手帳がもらえる前段階の、つわりの辛い時期に妊産婦タフシーが使えるような制度が可能であればお願いしたい。また、出産後も1歳未満まで使用できるようにしていただき、子どもが病気になる際にも母子共にタフシーの利用が出来るよう、見直しの際には検討していただきたい。

地域おこし協力隊について

問

地域おこし協力隊の現状を伺う。

答

市長公室長 本市初の地域おこし協力隊は、農業従事者の高齢化等による担い手減少といった地域課題に取り組みためとしており、3名の隊員については、イチゴや水稻栽培を主とする農業経営に必要な知識や技術習得に向け、指導者である受入先農家の下で日々農業に従事し、併せて隊員活動や本市の魅力発信に関するPR活動も行っている。

問

課題とサポート体制を伺う。

答

市長公室長 隊員が抱えている様々な心配や課題に対しては、心理的なサポートが重要であると捉え、日々のコミュニケーションの良好な関係づくりに努めるとともに、連絡・相談の機会を目的とした定期的な活動報告会や、状況に応じた面談の場を設けるなど、サポートしている。



『旧下吉影小学校』利活用の進捗状況は

いしい あきら
石井 旭



録画映像

答弁 民間提案を募集し令和9年3月までに譲渡目指す



▲旧下吉影小学校（下吉影地内）

問 利活用に向けた現状と今後の方針、また、地域貢献策として体育館の地元利用を望むが見解を伺う。

答 副市長 これまで21社の民間事業者が旧下吉影小学校跡地の現地視察を行ったが、固定資産税が算出されていないなどの理由により、売却に向けた交渉が進んでいない状況である。今後は「未利用財産利活用方針（☑）」に基づき、「民間提案制度」を活用し、建物評価が終わる12月頃から募集を開始したいと考えている。民間提案制度の募集要領には、提案内容の実現性のほか、地域貢献度などに資する提案を重視し、体育館の地元住民への解放などの提案を考慮し

ていく。令和9年3月までには、民間事業者へ建物を譲渡できるよう引き続き尽力していく。

定額タクシーについて

問 定額タクシー『おみたく』の本格運行に向けた改善点と今後のスケジュールを伺う。

答 都市建設部長 改善点は、22時以降の利用や登録証の第三者への貸出行為と思われる利用などの不適切利用が挙げられる。今後のスケジュールは、本制度の利用実績を検証し、定額タクシーと福祉タクシー券を融合した新たなサービスについては、地域公共交通会議で令和8年度中の本格運行に向け、検討していく。

問 福祉タクシー券と定額タクシーの両方で本格運行するのか伺う。

答 都市建設部長 定額タクシーは、福祉タクシー券の不公平感を解消することを目的の一つとした高齢者の移動手段の支援である。両制度を統合した新たなサービスについては、調査研究を進めていく。

☑ 未利用財産利活用方針…市の財産の適正管理と積極的な利活用（譲渡・貸与等）の推進を目的に定めた方針



重層的支援体制整備、国の方針転換への対応

やなか かずお
谷中 和雄



録画映像

答弁 地域ケアを重層支援会議の運営に近づける

問 重層的支援体制整備事業（☑）における国の方針転換を受け、茨城県地域ケアを活用したファミリー支援を進めては

るのか伺う。

答 福祉部長 令和7年度より重層的支援体制整備事業の内容に変更が生じており、多機関協働事業等に係る交付基準額では3100万円から2100万円に減額となる。また、事業の民間委託は原則禁止となり、本市では、多機関協働事業は社会福祉協議会へ委託する想定で進めていたため、市直営による事業実施が求められることにより、想定していた組織体制の見直しが必要となる。そのため、現行の茨城県地域ケアシステム事業に新たな支援対象として生活困窮並びに子育て世帯を含めた運営により、重層支援体制の構築が可能であるが、福祉部内の組織改編を含め検討していく。地域ケアシステムへの参画関係者を見直し、重層支援会議の運営に近づける変更を行うことにより、国の交付金を

頼らず、新たな予算措置を行わなくても国が提唱する重層支援体制に近づけた運用は可能と考えている。

学校給食について

問 食料費高騰に伴う対応は。

答 教育部長 学校給食は子どもたちが適切な栄養を摂ることで健康増進を図ることを第一の目的としている。財源確保に努め、質・量の要件を満たした学校給食の提供に引き続き努めていく。



▲中学校給食を試食（9/18）
鶏南蛮うどん、ほか 854kcal

☑…重層的支援体制整備事業…困難な課題を抱える人・世帯に対し、今ある制度や事業を活かしつつ、支援体制の垣根を越えて、包括的に支援できるよう、行政、地域、支援機関など様々な部署が重なりあって支援する事業



ケアプランデータ連携システム普及支援を

やまざき はるお
山崎 晴生



録画映像

答弁 制度活用し普及促進を図る

問

ケアプランデータ連携システム(☑)導入に向け、市の支援と普及促進について伺う。

答

福祉部長 国が整備を進めるケアプランデータ連携システムは、介護事業所の業務効率化や生産性向上につながる重要な取り組みであると認識している。本市としても国や県の制度を活用しながら導入の普及促進に努めていく。導入費用や運用に係る課題もあるが、現場職員の負担軽減を図り、利用者と向き合う時間を確保できるように積極的に取り組んでいく。

要望

介護事業者の経営環境は依然厳しく、導入費用やランニングコストの負担は大きい。現場職員が安心してシステムを活用できるよう、市として積極的な支援をお願いしたい。

消防職員の環境

問

消防職員の働く環境改善に向け、市の取り組み状況を伺う。

答

消防長 本市消防本部では、業務の高度化や多様化に対応するため、ハラスメント防止研修の実施やメンタルヘルス相談窓口の整備を進めている。また、人材確保策として採用説明会や広報活動を強化しており、今後も職員が誇りを持って勤務できる環境づくりに努めていく。

要望

市民の命と財産を守る最前線に立つ消防職員が、安心して働ける環境整備は喫緊の課題である。人材確保と併せて、職員が誇りとやりがいを持ち続けられるよう、市の積極的な取り組みを要望する。



▲小美玉市消防本部(小川地内)

☑ ケアプランデータ連携システム…居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、オンラインで完結できる仕組み



小美玉市で「道の駅」見解は？

おにた たけや
鬼田 岳哉



録画映像

答弁 地方創生を進める有効な手段と認識

問

全国的に道の駅が活況である。小美玉市の考え方や方針は如何に？

答

市長公室長 現在、国道(仮称)小美玉道路の調査等が進められており、道の駅整備に関する検討材料となりうる。来年度から進める第3次総合計画(☑)において、まちづくりの将来像と核となる施設を位置づける際に、地域活性化を図るひとつの手段として、検討してまいりたい。

ブランドメッセージの検証

問

ブランドメッセージ(☑)が誕生して5年が経過。発信状況や効果、今後の方針は？

答

市長公室長 広報紙、HP、名刺、ネームストラップ、記者会見時のバックボード等を通じて発信している。シビックプライドの醸成に寄与したと考えるが、今後は戦略的に市外に発信することにも、心に響く補助的な「キャッチフレーズ」の採用を検討したい。

道路維持管理業務(除草)

問

道路維持管理業務の現況と今後の方針は？

答

都市建設部長 市民からの要望は増加傾向にあり、特に酷暑による草の成長が著しく、除草対応が課題。提案のあった、遠隔操作での除草機械等の導入は、先進事例を参考にしながら、業務効率化に向けて、関係部局と調査・研究を進めていく。

ヘルメット補助金の対象拡大を

問

ヘルメット着用の努力義務化を受けた対応や課題は？

答

総務部長 中学校を卒業した15歳以上の市民を対象に、ヘルメット購入費の一部補助を実施。課題である補助利用率、及び着用率を高めるため、提案のとおり「中学在学中の方は除く」という文言を削除し、高校入学前にヘルメット補助を利用できる制度を検討していく。

◎その他の質問
自治体の停電対策に関して

☑ 総合計画…市の都市計画、環境、福祉といったすべての計画の基本となる「まちづくりの最上位計画」

☑ ブランドメッセージ…自治体独自の魅力や考え方、将来像などを簡潔に伝える言葉

本市：「ダイヤモンドシティ小美玉～見つける。みがく。光をあてる～」



市民活動を支える公共施設の在り方は

ふくしま
福島 ヤコヒ



録画映像

答弁 利用者が支障なく活動できる環境を整えていく

問

新まちづくり構想による新たな施設が検討されているが、市民活動を支える施設の在り方をどのように考えられているか伺う。

答

総務部長 新まちづくり構想では、「小美玉市公共施設等総合管理計画」等に基づき、施設の統廃合や機能移転、解体が計画されている。すべての解体する既存施設の面積や設備といった機能及び活動時間帯、活動日数、移動距離といった利便性を新施設と代替施設で担うことは物理的に困難である。そのため、利用者へ事前の周知と協議を実施し、既存の学校における地域拠点施設としての活用等を検討し、利用者が支障なく活動できる環境を整えていきたいと考えている。

有機フッ素化合物対策

問

市内の井戸から目標値の82倍になる有機フッ素化合物(☑)が検出されたが、対策を伺う。

答

市民生活部長 当該物質が検出され

スズメバチ対策

問

近年、スズメバチが増えている。駆除に係る補助制度の導入について伺う。

答

市民生活部長 県内では24市町村がスズメバチ駆除に係る補助制度などを既に導入している。近年、温暖化による活動期間の長期化などにより、スズメバチが増加している傾向にあるため、当局においても、補助制度導入に向けて調査研究を進めていく。

◎その他の質問

- ・子供の居場所づくり
- ・就学前の子供の発達健診
- ・ジエnder平等について

☑ 有機フッ素化合物…発がん性やコレステロール値の上昇など人体へ影響のある有害物質



市内居住外国人対応窓口一元化を要望する

かとり けんいち
香取 憲一



録画映像

答弁 多言語での情報提供と窓口機能に取り組む

問

外国人の皆さんへの相談窓口を一元化するスタートとして「多言語対応翻訳ボード」の導入をどうするか。

答

市民生活部長 市内居住外国人の現状は、平成19年の1311人と比べ、令和7年4月時点では約1.7倍の2229人に増加しており、市の総人口の4.62%に達し、他市町村と比較しても平均より高い水準である。国籍としては、ベトナム、インドネシアの方が50%以上を占めている。ディスプレイ型の多言語対応機器を含め、導入については調査を行いながら前向きに導入を検討していく。

問

外国人受け入れ体制整備の方向性について市長の考えを伺う。

答

市長 多文化共生の実現に向け、在住外国人が安心して暮らせる環境整備に努めていく。

妊産婦支援について

問

出産・子育て支援における「陣痛タクシー」の導入を提唱するが、市の見解を伺う。

答

福祉部長 「陣痛タクシー」はタクシー運転手の研修と365日24時間対応が必須となるため、市の現状として導入は難しい。しかし、産前産後の妊産婦移動支援の期間と助成金額の増額を検討し、来年度までの事業変更を進める。



▲翻訳ディスプレイ(イメージ)

☑ 陣痛タクシー…陣痛が始まった時に病院まで安全に送迎してもらえるタクシーサービス

- ◎その他の質問
- ・地方創生伴奏支援制度について



中央線の延伸は可能性を残しているのか

まい えいさお
真家 功



録画映像

答弁 紅葉石岡線まで開通後、交通状況により検討する

問

小美玉中央線の延伸は、地元、飯前地区から要望書を出している。具体的には、飯前地区を抜けてメロンロードへの延伸、さらには、県道大和田羽生線への延伸である。

いよいよ用地取得が終わり、県道紅葉石岡線までの開通が達成されようとしている。今後も延伸整備の可能性を残しているのか伺う。地元としては非常に心配している。市長の見解を伺う。

答

市長 小美玉中央線は、本市としても重要な路線と考えている。まずは、佐才地区から県道紅葉石岡線までの計画区間の全線開通を早期に実現していく。延伸については、完成後の交通状況などを考慮した中で検討していきたいと考えている。

要望

引き続き実現に向け、検討をお願いする。県の道路構想にある、茨城空港と東関東自動車道水戸線、茨城空港北インターチェンジを結ぶ(仮称)南北線との連携も

視野に入れるべきだと思う。必ずしも市道のみ延伸でなく、県道を活かしてもよいと思う。

百里基地対策について

問

防衛省関連補助金の状況について伺う。特に、騒音地区、旧小川地区にどれだけの補助金が入っているのか、補助の状況及び周辺対策状況を伺う。

答

市長公室長 防衛省関連の補助金などについては、基地周辺対策に努めるための有効な財源となっている。引き続き、安定し交付がなされるよう要望していく。防衛省関連補助金は、再編関連訓練移転等交付金、特定防衛施設周辺整備調整交付金、民生安定施設整備事業補助金を活用し、騒音地域の道路改良、防犯カメラ、上水道更新等に充当している。共同訓練は迅速な情報提供を防衛省に要望し、住民周知も強化。地元協議会と連携し、共存共栄を図る。

議会のリアルを傍聴で！

日	月	火	水	木	金	土
	2025年 12月	2 議会運営 委員会	3 本会議 議案説明 開会	4 議案調査	5 議案調査	6
7	8 議案調査	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 常任委員会	13
14	15 常任委員会	16 常任委員会	17 特別委員 会予備日	18 議会運営 委員会	19 本会議 報告・採決 閉会	20
21	22	23	24	25	26	27

本会議 傍聴できます (モニター放映あり)
常任委員会 傍聴要確認 (モニター放映なし)

次の定例会は 12月3日(水)開会予定

- 議場は市役所本庁舎3階。予約不要／受付あり(氏名・住所等)
- 委員会等の日程は議会運営委員会(12月2日(火)開催)で決定します。議会事務局 Tel. 0299-48-1111(内線1302)にお問い合わせください。

ほかにイロイロ



小美玉市議会 議会中継

本会議の様子は市のホームページからインターネットで配信しており、パソコン・スマートフォンから視聴できます。(録画映像なら、いつでも・どこからでも！)



市役所本庁舎
小川総合支所
玉里総合支所
それぞれの1階ロビーにあるTVモニターでもご覧いただけます。(受付不要です)